

疑惑徹底追及、逃げ切り許さぬ

首相守る改憲勢力 憲法かかる大事なたたかい

日本共産党奈良県委員会は14日、近鉄西大寺駅北口で街頭国会報告会を行い、大門実紀史参院議員が「桜を見る会」、ジャパライフ問題を報告しました。100人が参加、質疑応答もあり大変好評でした。大門さんは京都南地区の「大門ゼミ」でもこの問題を話しました。

●総理の犯罪 ないがしろにできぬ

どういう問題かについて大門さんは「一つは総理の法律違反、もう一つは総理がお年寄りなど7000人もの被害を出した悪徳マルチ商法に手を貸した、という疑い」とのべ、「首相は予算・法律を提案する中心であり、疑惑をないがしろにするわけにはいかない。だから野党は会期を延長してこの問題を説明せよと要求したのに、総理は逃げるように会期を閉じた」と批判しました。



●公選法違反一買収、供応、寄付行為

大門さんは「野党共同ピラ」に基づいて①税金でおもてなし②「『前夜祭』会費5000円？」は買収、供応、寄付行為など公選法違反の疑いがあると指摘。「桜を見る会」参加者に反社会的力が参加しており、参加者名簿の提出を求めると、「シュレッダーにかけた」と答えたことに触れ、「都合の悪いものはなんでもシュレッダーにかけろ安倍さんは、国会で『シュレッダー安倍』と呼ばれている」と紹介。笑いが起きました。

●ジャパライフ最後の荒稼ぎに首相招待状が使われた

大門さんは参院消費者特別委員会でジャパライフの悪徳商法を追及してきました。山口会長への招待が「首相枠」で行われたことが田村智子参院議員の調査で判明しましたが、大門さんは「会長が招待状をどこから手に入れて、勝手にジャパライフが使っているのかと思っていたが、利用されたのではなく、安倍さんが手を貸したということだ」と指摘。「招待状はジャパライフが荒稼ぎをして計画的に破たんさせようとしていたその時に使われた」と怒りを込めました。

●安倍首相はなぜ辞めないか

「ここまでのことをしなくてもやめた総理は沢山いるのに、安倍さんはなぜ辞めないのか」と問いかけ。「日本会議などの改憲派が、改憲に執念を燃やす安倍さんが辞めたら憲法を変えるチャンス何十年も先に遠のくと思っている。だから権力のすべてを動員し、マスコミにも圧力をかけて安倍さんを守ろうとしている」と指摘。「憲法がかかった、大事なたたかい。世論を広げ、この機会に安倍政治を終わらせようではありませんか」と呼びかけました。

近畿いっせい宣伝「悪代官何とかして」、日曜版飛ばよう

13日の近畿いっせい宣伝は約2000人が参加して500カ所近くで取り組まれ、「桜を見る会」問題で大きな反響が寄せられました。JR和歌山駅前では「あの悪代官をなんとかしろ」「野党が一致してもっと追及してほしい」などの声が寄せられ、45分間で70部の日曜版宣伝紙が飛ばすように受け取られました。神戸市内では、自転車で追いかけてくれた男性が「桜を見る会、ひどすぎる。あんたらが頑張ってくれんと、安倍や権力側は腐りすぎや」と熱い激励がありました。

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 33(2019.12.16)